



平成 21 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社ミスターマックス
代 表 者 名 代表取締役社長 平野 能章
(コード番号 8203 東証第一部、福証)
問 合 せ 先 取締役経理本部長 中野 英一
(TEL 092-623-1141)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 5 月 15 日の決算発表時に公表した平成 22 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想数値の修正
(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	50,300	400	500	300	8.98
今回発表予想 (B)	52,342	680	784	519	15.54
増減額 (B - A)	2,042	280	284	219	—
増減率 (%)	4.1%	70.0%	56.8%	73.0%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	49,606	385	495	△ 559	△ 15.93

2. 修正の理由

長引く消費の低迷に加え、特に 7 月は記録的な長梅雨や西日本を襲った豪雨災害の影響を受け、MrMax 既存店の売上高前年比が 97.0%に留まったことなどから、7 月 27 日の第 1 四半期決算開示時点では、MrMax 既存店の第 2 四半期累計売上高前年比見込を 101.8%とする当初業績予想数値を据え置きました。しかしながら、実績値は、酒類、米、菓子、洗剤など、日常の暮らしの中で購買頻度の高い商品群の売上げが好調で、エアコンなど季節性の高い商品の売上不振を補い、また、プライベート・ブランドの小型液晶テレビの売上が好調だったことなどから、7 月を除く各月の既存店売上高前年比はすべて前年を上回り、第 2 四半期累計既存店売上高前年比は当初想定を 4.0%上回る 105.8%となりました。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間の連結営業収益は、7 月 1 日に株式譲渡を行った(株)ピーシーデポマックス(現(株)ピーシーデポ九州)が連結対象から外れたことにより、前年同期比 677 百万円の減収要因があったにも関わらず、当初予想を 4.1%上回る 52,342 百万円となる見込となりました。

また、修繕費、広告宣伝費、警備費、清掃費などの経費も当初予想に比べ節減が進んだことから、営業利益、経常利益、四半期純利益とも、当初予想を大幅に上回る見込となりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、消費環境は依然厳しく、また当第3四半期から第4四半期にかけて新規出店に加え、新品種導入に伴う改装を複数店舗で予定していることから、平成22年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成21年5月15日発表時の業績予想を据え置くものとします。

(ご参考)

平成22年3月期 通期の連結業績予想数値(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
当期業績予想 (平成21年5月15日発表)	百万円 101,200	百万円 900	百万円 1,100	百万円 700	円 銭 20.95
前期実績 (平成21年3月期)	99,655	673	821	△ 5,085	△ 147.51

(注) 本資料における業績予想は、当社の本資料発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって本資料記載の業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上